

社寺建造物に壊滅的損傷

兵庫県南部地震第3報

各教団で支援の輪、急ピッチ

戦後最大の自然災害と言われ、歴史的な事件となった兵庫県南部大地震は、日がたつにつれて被害規模が増大し、地震による死者の数は二十一日現在、約五千人、倒壊家屋は五万軒以上、被災者の数は三十万人以上となっている。都市を襲った直下型大地震は新幹線や高速道路をも直撃、“安全神話”は脆くも崩れ、改めて地震の恐ろしさを見せつけた。街では倒壊した家屋が瓦礫の山と化して、道路にはビルの破れた窓ガラスや建築材の破片、傾いた電柱、切れた電線などが散乱して歩道をふさぎ、路地は道がどこかも分からないような所もそこかしこにあった。街のあちこちには被災者がテントを張って生活しており、ドラム缶で火を焚きながら寒さをしのいでいる。

既報の通り、宗教界でも甚大な被害が発生しており、社寺の大部分が倒壊したり、大きく傾いて、使用不可能な施設の数にははかりしれない。甚大な被害を乗り越え各教団や宗派では災害対策本部を設置して、被害規模の把握と救援活動に全力をあげているが、本紙では総力をあげて、この歴史的な大震災の被害を取材し、フォトと記事で特報している。今回は、その第三報を六面から十六面までの十一ページにわたり掲載する。

天台宗

宗務庁に設置された「兵庫県南部地震災害特別救援本部」（本部長＝杉谷義純総長、副本部長＝小林隆彰延暦寺執行）での救援活動が本格化している。十七日の地震直後から調査に現地入り、十八日には、近隣教区の仏青有志が、ビニールシートや、下着などの衣類、食糧、医薬、電池など救援物資を二トントラック一台に積み込み、パトカーの先導で現地入りし、関係寺院の慰問を行なった。岡山・近畿・滋賀・京都の各教区の仏青メンバーもボランティアとして現地入りし、被災者の救援にあたっている。

二十日午後には、必要物資の調達に役立ててもらおうと「地球救援募金」から拠出した一千万円をNHKに寄託。

また、十八日に震災犠牲者のための慰霊法要を延暦寺で営んだが、震災犠牲者の数も増大しており、再度二十四日に慰霊法要を営む。現地での法要も予定している。延暦寺では二十一日から二十五日まで実施する恒例の寒行托鉢を災害援助募金として協力を呼びかけている。

二十四日には、杉谷本部長、小林副本部長も現地入りする。

救援本部では二十三日に対策会議を開き、今後の活動方針を打ち出した。三つの原則として、一、被災した寺院を救済、一、寺院を通じて檀家信徒近隣の人々救済、一、被災した人々全体に対して救済、を打ち出した。

物資が少しずつ整いつつある今、被災者にとって今後心の問題が大きな位置を占めることになるだろう。

天台宗兵庫教区の被災寺院の状況（二十一日現在）は以下の通り。カツコ内は住職名、住所（敬称略）。

《第一部》

【神戸市】能福寺（雲井世雄、兵庫区）本堂半倒壊、庫裡半倒壊小堂全壊▽理教院（勝山忠圓、同）本堂・庫裡全壊。住職夫人母が下敷きになり、足・胸骨折入院院▽善光寺（高坂盛暢、同）本堂・庫裡傾く▽善光寺（高橋恵俊、灘区）本堂・客殿・護摩堂全壊▽妙光院（尾市圓龍、中央区）本堂・庫裡・聖天堂半壊▽妙昌寺（立松全恵、長田区）軽微▽太山寺（山田定■、西区）石塔倒壊多数、羅漢像落下破損▽遍照院（虎熊恵澄、同）、成就院（寺崎

真道、同)、安養院(山田定■、同)、歓喜院(辻井定宏、同)は軽微▽龍象院(内山真善、同)山門屋根瓦落下。法嗣夫人(土居あき子さん四十五歳)が死亡▽与楽寺(甲斐信盛、同)本堂傾き、庫裡棟瓦落下多数、石塔倒壊▽潮海寺(樫木良幸、同)堂瓦落下、灯籠・墓石一部倒壊▽太谷寺(寺沢良元、同)瓦全落下、庫裡壁ひび割れ多数、灯籠倒壊仏具損傷▽如意寺(宇代隆信、同)文殊堂落下多数、庫裡屋根瓦落下軽微、仏具損傷▽寶福寺(秋山慈恵、同)、万願寺(本岡貞道、同)は無事=推測=▽清水寺(小泉即澄、同)本堂・門・塀倒壊▽日輪寺(虎熊光城、同)瓦全落下、石塔倒壊、仏具損傷▽実相寺(齊川文泰、垂水区)瓦一部落下、本堂内が散乱▽多聞寺(齊川観弘、同)鐘楼・庫裡屋根瓦落下、仏像二体損傷、石灯籠倒壊

【明石市】長光寺(雲井明善、大久保町)屋根・塀・石塔に被害▽来迎寺(猪飼行幸、同)位牌堂屋根瓦落下多数、石塔倒壊▽戒光院(藤木亮俊、大観町)本堂ねじれ、庫裡半倒壊、塀・石塔・墓石倒壊▽実相院(小泉即澄、同)山門脇堀倒壊、庫裡屋根瓦落下、石塔墓石倒壊多数▽圓珠院(大宮行忍、同)本堂ゆがみ軽微、庫裡屋根瓦落下▽善楽寺(藤井亮俊、同)建物損壊あり▽長林寺(北村即淳、材木町)聖天堂半倒壊、山門脇堀屋根瓦落下、庫裡屋根瓦落下、石塔墓石多数倒壊▽高家寺(井藤圭湊、太町)薬師門倒壊、本堂屋根瓦落下多数、庫裡壁ひび多数、石塔墓石倒壊

【芦屋市】神宮寺(藤井正道、春日町)軽微

【伊丹市】容住寺(須磨徳信、荒牧木ノ下)山門・鐘楼・庚申堂全倒壊、本堂半倒壊

【加古川市】不動院(北村雅道、野口町)、法泉院(長谷川慶明、同)、常住院(小杉隆道、同)、遍照院(長谷川慶文、同)は軽微▽教信寺(北村雅道、加古川町)本堂ゆがみ、石段破損、石塔墓石倒壊▽鶴林寺(吉田亨盛、同)石塔、石灯籠倒壊、経蔵周囲落下▽浄心院(茂渡俊慶、同)軽微▽宝生院(幹栄盛、同)石灯籠倒壊、壁ひび割れ▽真光院(吉田亨盛、同)軽微

《第二部》西方寺(大槻善實、多紀郡今田町)位牌倒壊▽和田寺(武内隆照、同)石灯籠倒壊

《第三部》一乗寺(太田寛秀、加西市坂本町)建物等は無事▽羅漢寺(岸原祐驥、加西市北条町)石仏一部倒壊▽普光寺(上中祐俊、加西市河内町)地藏尊の一部倒壊

《第四部》延命寺(茂渡恵仙、姫路市御国野町)灯籠・塀倒壊。建物の壁剥離落下▽斑鳩寺(大谷智康、揖保郡太子町)厨子の内仏移動

《第六部》常勝寺(宮崎寛順、氷上郡山南町)位牌堂ガラス容器全壊▽白毫寺(荒樋秀晃、氷上郡市島町)石灯籠倒壊、位牌損傷。

立正佼成会

立正佼成会(庭野日鏡会長、本部=東京都杉並区和田)は十九日までに、甚大な被害が出た「兵庫県南部地震」の被災者救援のため兵庫県に対して見舞金三千万円を贈ることを決定。同日午後、村瀬雅貞・同会関西四国教区長が救援物資を積んだトラックとともに同県災害対策本部のある県庁へ赴き、貝原俊民知事へ見舞金を手渡した。

さらに救援の第二弾として二十日、一億一千万円の見舞金贈呈と医療チームの派遣等を決定し、実施に移っている。

一億一千万円の見舞金は神戸市、西宮市、芦屋市、淡路島の津名町、淡路町、一宮町など「災害救助法」が適用された十五市町の各災害対策本部へ近日中に届けられる。

また、同会付属「佼成病院」(東京都中野区)の医師二人、看護婦二人、コーディネーター(調整役)一人からなる医療チームは二十日午後、調布飛行場から神戸市へ。到着後は、旧ユ-ゴ難民救援で行動を共にしているAMD A(アジア医師連絡協議会、事務局=岡山市橋津)と連携して医療活動にあたっている。

さらに立正佼成会本部に備蓄してある非常食(米、乾パン、粉ミルク等)二万八千食分とトイレットペーパー、紙おむつ、タオルなど救援物資を現地へ届けた。

同会はさらに、神戸教会員を中心に救援活動を行なう方針で、そのための経費一千万円の拠出も決めた。

同会本部は神戸市中央区にある同会神戸教会の建物の無事を確認。会員の安否の十分な確認はまだとれていない

状態だ。

真宗大谷派

神戸市内と比べて比較的被害の少なかった尼崎市内だが、圓受寺（橋本一哉住職）では約二百年前に建てられた本堂が全壊、「本尊を運び出す暇さえなかった」という。また、昭和初期の山門、明治中期の経堂、鐘楼もすべて倒壊、瓦礫が土塀を倒して参道に止めてあった車も押し潰すなど境内はほぼ壊滅状態となった。ただ、庫裡は屋根のズレのほか、壁にヒビが入った程度の損傷ですんだもよう。橋本住職や寺族にけがはなかった。

十九日には管轄の大阪教務所から職員が見舞いに同寺を訪れ、被災状況などを調査。現在、橋本住職夫妻は庫裡の瓦が落ちないようにロープで止めるなど復旧作業に懸命だ。

震災に加え、火災の最も激しかった神戸市兵庫区では西林寺（中杉幸夫住職）の庫裡が全焼。本堂は鉄筋コンクリート造りで焼失を免れたものの、瓦礫の山が未だに黒煙をあげてくすぶった状態だった。また、周囲はほとんど焼け野原になってしまったが、コンクリート造りの本堂が“防火壁”になって隣家の類焼を防ぎ、住民から感謝されていた。住職、寺族は北区大池の支院、幼稚園に避難したもよう。

また、不自由な足にもめげず、瓦が落ちるなど損壊した屋根に上がって防水シートを張っていたのは海津俊子教専寺住職代務者（灘区）。ほこりまみれになりながら復旧作業に取り組み、入れ替わり立ち替わり見舞いに訪れた檀信徒を励ます姿が印象的だった。同寺では本堂、庫裡ともに無事で、屋根や壁に若干の被害があっただけだという。

宗務所の災害救援本部（本部長＝岡川秀映参務）が調べた各組別の被災寺院は次の通り（二十日現在）。

【大阪教区第八組】

▽蓮生寺（時本孝住職、尼崎市）＝本堂内部の荘厳、欄間、内壁、梁の落下▽浄正寺（秦野瑩璋住職、尼崎市）＝本堂の瓦四分の一落下、山門傾く▽常願寺（志紀忠明住職、尼崎市）＝山門全壊、庫裡一部損壊、本堂内部の壁崩れる▽圓受寺（橋本一哉住職、尼崎市）＝本堂、山門、鐘楼、経堂全壊、庫裡一部被害、自動車二台破損▽真福教会（尼崎市）＝建物ガラスに一部割れ、壁にヒビ▽西孝寺（端孝俊住職、西宮市）＝本堂全体にズレ、内陣が散乱▽光福寺（池田正信住職、川西市）＝本堂の梁がややぐらつき▽浄徳寺（今井進住職、川西市）＝本堂の壁一部落下とヒビ、山門傾く▽圓慶寺（月岡靖雄住職、宝塚市）＝本堂傾斜（余震があれば全壊必至）、山門全壊▽福勝寺（梶浦晴喜男住職、伊丹市）＝本堂瓦にズレ、壁と内陣一部に被害、鐘堂傾く▽萬徳寺（稲葉和麿住職、伊丹市）＝本堂、庫裡全壊▽徳通寺（堀雅敬住職、川西市）＝本堂の一部瓦落下、本堂内部に被害、山門一部傾く。前坊守打撲▽林溪寺（寺林中住職、神戸市北区）＝山門全壊、本堂内部破損▽明德寺（中尾良光住職、西宮市）＝太鼓堂全壊、宗祖の厨子倒れる▽常永寺（松田了正住職、神戸市東灘区）＝本堂全壊、庫裡半壊、前坊守死去▽常順寺（東一影住職、東灘区）＝本堂、庫裡全壊▽光明寺（石谷信英住職、東灘区）＝庫裡全壊、常願寺住職が避難▽教専寺（海津俊子代務者、神戸市灘区）＝建物内部に被害▽梅仙寺（大橋恵照住職、灘区）＝本堂内部に被害、瓦全て落下▽敬覚寺（慈泰雄住職、灘区）＝本堂、庫裡全壊▽壁圓寺（後藤継男住職、灘区）＝山門本堂半壊、本堂内陣一部被害▽願正寺（戸田直夫住職、灘区）＝本堂壁にヒビ▽妙福寺（直林法廣住職、芦屋市）＝本堂、庫裡全壊、住職△チ打ち▽安念寺（宮一弘住職、東灘区）＝本堂、庫裡全壊。

【大阪教区第九組】

▽円成寺（入江進代務者、池田市）＝本堂屋根瓦落下、庫裡一部被害▽専行寺（山庄司正弘住職、池田市）＝本堂内陣被害、塀崩れる▽誓願寺（渡邊宜弘住職、豊中市）＝本堂の瓦ズレ▽順正寺（橋川惇住職、池田市）＝本堂の屋根一部ズレ、太鼓堂の壁落ちる。

【山陽教区神戸組】

▽慶徳寺（波来谷勝彌住職、神戸市兵庫区）＝本堂屋根瓦数枚落下▽超勝寺（山本了義住職、兵庫区）＝本堂屋根瓦全て落下、本堂と門傾く、塀倒れ被害大（余震で全壊必至）▽柳泉寺（宇磨谷教紹住職、兵庫区）＝本堂屋根全て落下、本堂傾く、庫裡半壊▽福泉寺（清水邦彦代務者、兵庫区）＝本堂半壊（余震で全壊必至）、庫裡傾く、

塀倒壊▽専念寺（鈴木孝行住職、兵庫区）＝本堂、庫裡全壊▽専勝寺（山口正利住職、兵庫区）＝本堂、庫裡半壊（余震で全壊必至）▽西林寺（中杉幸夫住職、兵庫区）＝本堂全壊、庫裡全焼、本堂内荘厳全焼▽浄光寺（山本義尚住職、神戸市兵庫区）＝本堂屋根瓦数枚落下、庫裡塀倒壊▽遍照寺（村上恵雄兼務）＝本堂屋根瓦にズレ、内陣荘厳破損▽遥船寺（村上恵雄住職、神戸市中央区）＝本土屋根瓦九割落下、本堂に歪み▽大圓寺（村上顕順住職、中央区）＝塀破損▽善行寺（前田政昭住職、中央区）＝壁にヒビ▽玉龍寺（五百井正浩住職、神戸市長田区）＝本堂屋根にズレ、参道陥没▽明善寺（笠原昭亮住職、長田区）＝本堂庫裡全焼▽明正寺（土橋英明住職、長田区）＝本堂庫裡全壊。

【山陽教区第六組】

▽常光寺（飯貝昭三住職、神戸市西区）＝本堂瓦落下▽常德寺（内藤隆雄住職、兵庫県明石市）＝周囲塀全壊▽正覚寺（藤本利満住職、明石市）＝本堂瓦ズレ、水道破裂▽浄泉寺（望月廣三住職、兵庫県洲本市）＝本堂瓦大量落下、墓標大部分倒壊、本堂荘厳倒れる。

【各別院】

▽難波別院（大阪市中央区）＝二階ガラス窓二十枚ほど破損▽茨木別院（大阪府茨木市）＝壁二、三カ所崩れる、内陣金箔破れる。

臨済宗南禅寺派

臨済宗南禅寺派の被災寺院の状況は以下の通り（宗務本所調べ、二十日現在）。

【第六部宗務支所】

▽開田寺（只間康道住職、灘区）＝建物はあるが本堂庫裡とも内部使用不能▽廣嚴寺（千葉猷道住職、中央区）＝本堂屋根一部落下▽地蔵院（湯浅大雄住職、兵庫区）＝山門被害、本堂屋根落下▽福嚴寺（神田謙光住職、同）＝本堂は建ってはいるが使用不能▽福海寺（中野多聞住職、同）＝庫裡、大黒天堂を除き、本堂はじめ諸堂全壊▽真浄寺（勝又栖芳住職、同）＝建物はあるが、本堂内部使用不能▽恵林寺（甲斐宗光住職、同）＝新築中の建物を含め本堂庫裡ともに全壊▽宝満寺（亀山泰嶺住職、長田区）＝建物はあるが内部の損傷がひどく使用不可▽正法寺（同、同）＝建物はあるが使用不能▽明泉寺（富士荘碩住職、同）＝建物はあるが、本堂はじめ諸堂傾き使用不可▽瑞竜寺（矢坂誠徳住職、兵庫区）＝本堂全壊、庫裡も使用できない。

【第七宗務支所】

▽海泉寺（染川真澄住職、長田区）＝本堂、山門、鐘楼全壊、庫裡内部も損傷大▽福聚寺（足立芳伸住職、同）＝本堂はじめ諸堂半壊使用不能、庫裡のみ何とか使用可▽妙楽寺（柘井洋尚住職、同）＝鐘楼全壊、屋根瓦落下▽長福寺（原田太胤住職、同）＝本堂傾き使用不可▽禅昌寺（近藤利弘住職、須磨区）＝本堂の屋根のずれ▽慶雲寺（石井宗真住職、同）＝本堂、庫裡的屋根瓦が落下▽大蔵院（桜木徳宗住職、明石市）＝土塀の崩壊、山門屋根瓦落下とゆがみ▽長久寺（金山乾峰住職、同）＝本堂、庫裡的屋根瓦が落下▽円通寺（伊藤暁瞬住職、同）＝壁の落下▽洞養寺（圓山功宗住職、垂水区）＝山門本堂の瓦落下▽青木寺（小林恭三住職、同）＝屋根瓦一部落下▽玉林寺（中村宗幸住職、同）＝新築中の本堂屋根瓦落下▽石水寺（圓山春水住職、同）＝山門瓦落下▽地蔵院（樗融宏住職、西区）＝壁一部落下▽妙楽寺（中奥宗克住職、同）＝壁一部落下。

この他、全ての寺院で壁の破損、墓石の倒壊がみられる。

荒廃から復旧への第一歩を

真言宗

ミナト神戸で知られ美しい町並みのエキゾチックな国際都市が無惨にも崩壊した。特に、東灘区、灘区、兵庫区、長田区、須磨区に被害が集中しており、それも神戸で通称呼ばれている「山側と浜側」のうち、浜側方面の被

害が著しい。

神戸の中心街・三宮は、ビルが倒壊し、ゴーストタウンの様相を呈していたが、二十日ごろから復興への動きが始まっている。兵庫県庁の前にある国際都市を彩る日本キリスト教団神戸栄光教会は、天高く聳えていた独特の屋根が落ち、十字架の影もなかった。

かつて神戸の新開地は市内随一の歓楽街として栄えたが、現在は歓楽の中心も三宮に移行し、ややかげりが出てきた。戦前から神戸は、川崎、三菱の航空機製造の拠点であったため、第二次世界大戦では、米軍による空爆のねらい撃ちの対象になった。爆撃で市内はほとんど全壊した。東西に伸びる長い都市は、B29爆撃機の一行横隊で爆弾、焼夷弾を無差別に投下する「絨毬爆撃」で、焼き尽くされた。

五十年前、廃虚と化した神戸が、復興に励んできたものの、今回の阪神大地震で再び倒壊と灰燼、瓦礫の山に戻ってしまったのである。

戦後の復興とともに心を和ます娯楽を一手に握った町が新開地だった。今回の阪神大地震は映画館や娯楽施設の並ぶ新開地をも壊滅状態に追い込み、さらに新開地から西へ広がる神戸の動脈の上沢通、下沢通もむちゃくちゃに破壊してしまった。

上沢、下沢通には、各宗の寺院施設が薈を並べる。広い道路とともに整備が完了し神戸を東西に跨ぐ中心の街路である。高野山真言宗西室院（田中昭寛住職・兵庫区中道通五ノ一ノ三）は、本堂が完全に倒壊。田中住職は、「こんなことになろうとは。檀家にも亡くなった人があり、そのお葬式も丁重にできず、

この世の地獄をみました」と。この中で、御室派東山寺（藤井昭禅住職・下沢通六ノ一ノ三）は、比較的被害が少なかったが、付近一帯の被害があまりにも大きいので藤井住職も作業着姿で黙々と働いていた。

神戸市長田区は、地震発生後、火魔に襲われた最大の被災地。東の灘、東灘区は地震の揺れで倒壊したが西の長田区は火事で会社や人家、寺院が多く焼失している。長田区一帯は戦後の復興をゴムの産業で支え、全国的に有名な神戸のケミカルシューズの製造元。大企業の住友ゴムを初め、中小のゴム製品を生産し扱う工場が立ち並んでいた。ゴムの製造に使う薬品に引火、大惨事となったとみられるが、百万平方メートル以上を焼き尽くす未曾有の大惨事跡に目を覆いたくなる。

この一帯にも寺院が多い。戦後、神戸の復興とともに神戸にお寺を開いて檀信徒づくりをしようと積極的に新寺建立を行なった住職が多い。ゴム工場で働く人々へ布教し、また中小企業の会社経営者とは、密接な寺檀関係を結んで繁栄した寺院が多いのである。

真言宗の寺院、特に御室派と東寺真言宗の寺院が大打撃を受けている。

御室派法隆寺（粟生英憲住職・長田区東尻池町二ノ一ノ一〇）は、本堂、庫裡、山門が倒壊。本尊は無事に救出され家族も難を逃れた。粟生住職は、十年前から本堂の天井に自ら筆をとって天井画を画いていた人である。既に完成も間近であった矢先に受けたこの倒壊という大被害。「これから復興に一念をかけます」と。御室派の大日寺（小田証純住職・長田区腕塚町一ノ一ノ二六）、大聖寺（田中ツル工住職・長田区長田天神町三ノ一ノ一六）、朝光寺（山西克明住職・長田区御船通三ノ二）も倒壊。「長田区の御室派は全滅です」と、粟生住職はがっくりと肩を落としていた。

一方、この長田区には東寺真言宗の寺院が九カ寺も固まっている。

本堂・庫裡の倒壊と火事で前住職・木田宥岳氏夫人を亡くした西代寺（高木宝瑞住職・長田区神楽町六ノ七ノ一八）、延命寺（平尾竜懂住職・長田区片山町一ノ八ノ六）は外壁が倒壊した。支所長をつとめる霊山院（衣笠敬文・長田区久保町一ノ一ノ八）は、庫裡・本堂の屋根が吹き飛び全壊。宝塔院（神先賢雄住職・長田区松野通三ノ三ノ七）は、火事で全焼している。

長田区菅原通は町が全壊し面影もない焼け野原。ここに高野山真言宗菅原寺（山田恵昭住職・長田区菅原通六ノ二ノ一）があったが、焼失してそのあとも全くとどめていない。

倒壊した寺院、神社は屋根瓦が重厚で本堂などは壁面積が少ないため、震度に耐えられず倒壊した。屋根の薄い、築後年数の経ていない宗教施設が意外に健全であった。

— ◇ —

高野山真言宗（新居祐政宗務総長）は今回、迅速な救援活動がめだった。

地震当日、上局会を開いて対応を検討。その日のうちに交通ルートの確保に奔走し、まず岩坪真弘教学部長が淡路島に入った。岩坪教学部長の自坊・八浄寺（兵庫県津名郡佐野）が無傷だったため、同寺に淡路地区の救援本部を置き、十八日には田岡照遍総務部長、長尾恵證教学部次長、森寛秀山林課長、三星寛巖文化財保存会課長、吉武貢企画室職員らが駆けつけ、翌日はさらに応援も加わり泊まりがけで各地を回り、見舞いおよび調査を行なった。他の地区も同様に各部長を班長にして本山職員が四班に分かれて、見舞い及び被害状況の把握に動いた。

神戸地区については、十八日に新居宗務総長が職員二人と和歌山県の箕島港から小型漁船をチャーターして兵庫港に入った。自坊の光明院（兵庫区吉田町）は本堂等がほとんど倒壊していたが、鉄筋の信徒会館が無傷だったため神戸地区の救援本部を同寺に置いた。こうして職員等を総動員して、情報収集が困難な中にも被害状況の把握につとめた。

救援物資の大量輸送についても、十九日にまず高野山から深日港を経由して八浄寺に米、うどん、おやつ、もちなど食料品を中心に到着。同じく十九日に神戸への輸送を試み、漁船をチャーターして八浄寺から光明院へ物資を無事に届けた。その内容は淡路で焼いたパン一千個と八浄寺で湧いた水を入れたポリタンク二十数個など。それらをいったん光明院に集め、さらに職員が手分けして各避難所に配って回った。

神戸に対する物資の救援は海路以外も様々なルートが検討され、二十日にはトラックにおにぎり、パン、みかん等の食料品、肌着などの衣類を満載して、高野山を出発し、途中、兵庫宗務支所の円満寺（篠原法傳住職）が西宮市にあるため半分を降ろして周辺の被災者に配り、さらに走って光明院へと運んだ。

淡路地区では二十日に今回の震源地に当たる北淡町で、避難している被災者約三千人に対して、淡路宗務支所の寺族婦人会員・金剛講八浄寺支部の講員・同宗務支所所員・同宗務支所青年教師会会員らが前日から炊き出しを行ない、おにぎりやサンドイッチ合わせて三千人分を用意、車に分乗して北淡町役場へと運んだ。二十一日には一宮町役場で、前日と同じメンバーにより避難している被災者に対して温かい讃岐うどんを九百食分接待した。なお、この日までに島内の全寺院を職員らが回って、見舞いおよび実情調査を終えた。

二十一日には本山で調査に当たった職員らが対策会議を開き、兵庫に居る新居宗務総長と連絡を取りながら具体的な救援策を打ちだした。それによると本山から被災に遭った寺院の復興資金として一億円を、一般の被災者に対する義援金として二千万円（NHK放送局を通じて）をそれぞれ贈る。これは御宝号念誦基金の積み立て分からねん出することになる。また、引き続き四班に分かれて災害地を回り、見舞いと被災状況の調査を行なっている。さらに全国の青年教師会のメンバーが大阪の太融寺に合宿してボランティア活動をする。とくに遺骨収集および回向をできるだけ行なう。

なお宗団では積極的な義援金を呼びかけており、次の口座をすでに開いている。

「高野山真言宗特別災害基金」（口座番号＝〇〇九七〇―一―四三九七五）。

浄土宗

十七日発生した兵庫県南部地震は兵庫教区を中心に浄土宗寺院にも大きな被害をもたらした。宗務庁の被災調査で判明した浄土宗寺院の被災状況（十九日現在）では、灘組の伊藤省三西福寺住職が倒壊した建物の下敷きになって死亡したほか、本堂の全壊または全焼が十九カ寺に上った。また本堂半壊が二十一カ寺、庫裡の全壊または全焼が十五カ寺、庫裡半壊が三カ寺、その他の堂宇全壊が十一カ寺、その他の堂宇半壊が三カ寺などとなっている。被害の比較的軽かった寺院は四十六カ寺となっている。

十九日までに判明している被害状況は次の通り（カッコ内は住職名、敬称略）。

【神戸組】東極楽寺（小林憲雄）本堂屋根瓦全部落下、塀崩壊▽浄福寺（浅野正運）被害軽微。内部損傷軽微▽福德寺（螺沢弘明）山門崩壊、墓石倒壊▽誓願寺（梶山葆雄）本堂外陣崩壊、庫裡がほとんど壊滅▽安養寺（加藤幸雄）本堂、庫裡傾斜、山門崩壊、墓石倒壊多数▽藤之寺（望月英成）本堂屋根瓦落下、やや傾斜、墓石倒壊多数▽極楽寺（明石孝成）調査中▽済鱗寺（明石和成）調査中▽金福寺（生島明全）本堂庫裡壊滅、現在避難中、自動車内で生活▽迎接寺（伊藤貞如）山門崩壊▽願成寺（濱田諭稔）住職が負傷、庫裡全壊、本堂は無事▽長福寺（田

民誠雄) 本堂と庫裡内部全壊▽霊山寺(林顕淳) 本堂屋根落下▽宝地院(中川浩安) 本堂傾斜大(解体を要す)、庫裡は何とか無事▽東福寺(谷口泰淳) 本堂、庫裡傾斜大▽極楽寺(伊藤涼導) 本堂半壊、屋根瓦落下、墓石全部倒壊▽西光寺(三好信幸) 本堂全焼?、電話不通▽光堂寺(小野田俊蔵) 塀倒壊▽一乗寺(村田俊明) 庫裡瓦落下、墓石全部倒壊▽西極楽寺(牛田隆教) 本堂全壊、庫裡内部壊滅▽浄業寺(山田瑞邦) 本堂全壊、庫裡で生活中▽法界寺(藤浦妙心) 屋根瓦落下、ひび割れ損傷、生活不能▽長伝寺(安部哲脩) 地割れのため塀ひび割れ、傾斜▽極楽寺(古本肇滋) 被害軽微▽永福寺(無住) 被害軽微▽知法院(小林義弘) 本堂屋根一部崩壊▽専称寺(輔老一完) 本堂傾斜、瓦落下小▽西光寺(寺川光念) 本堂内部混乱▽報身寺(静永峯雲) 本堂壁崩壊▽通照院(佐橋快雄) 本堂にひび。

【灘組】中勝寺(藤井大俊) 本堂、庫裡全焼、電話不通▽阿弥陀寺(土佐瞬成) 庫裡全壊、本堂は無事▽法泉寺(市野善照) 庫裡全壊▽西福寺(伊藤省三) 住職遷化、電話不通▽光明寺(小栗賢亮) 調査中▽慶光寺(入井俊明) 本堂、庫裡全壊、自動車内で生活▽明休寺(鈴木勝巳) 本堂内陣壁落下、山門倒壊▽阿弥陀寺(黒川恭眞) 調査中▽徳本寺(吉永幸也) 調査中。

【武崎組】如来院(久松亨道) 内陣荘厳壊滅、稻荷祠壊滅▽専念寺(武田賢祐) 本堂内部被害軽微▽常楽寺(浦上博隆) 被害無し▽法園寺(平井義隆) 調査中▽甘露寺(三枝樹隆善) 墓石全部倒壊、本堂内部被害軽微▽深正院(藤野芳雄) 墓石全部倒壊▽光明寺(柴田義朗) 山門全壊、本堂壁割れ▽寶樹院(菅原良典) 屋根瓦落下、内部被害軽微▽東光寺(平井義隆) 本堂内部被害軽微▽来迎寺(小島哲彦) 本堂全壊▽常春寺(松永寿秀) 本堂半壊▽西蓮寺(田野島孝道) 観音堂全壊、瓦落下多数▽光明寺(小川貫良) 本堂傾き、内部混乱▽大昌寺(石橋泰宏) 比較的被害軽微▽願正寺(高橋弘次) 本堂傾斜▽極楽寺(螺沢光伯) 本堂半壊▽等覚寺(諸戸大護) 本堂半壊▽西安寺(佐藤心岳) 本堂全壊、庫裡ほとんど壊滅▽西蓮寺(貴田康住) 本堂全壊▽法安寺(阿部昭) 本堂内部破損▽円福寺(芳川春海) 本堂全壊▽昌林寺(花木亨純) 本堂全壊▽西方寺(貴田善澄) 鐘楼全壊、本堂内部壊滅、墓石倒壊▽豊乗寺(知足善晋) 本堂内部壊滅、庫裡内部壊滅、生活不可能▽泉福寺(花木隆司) 調査中▽阿弥陀寺(増田行善) 本堂、庫裡全壊▽観音寺(池上昭信) 被害軽微▽法性寺(螺澤昌弘) 本堂半壊▽親王寺(河北光順) 本堂全壊▽安楽寺(曾和義雄) 山門、内陣破損▽薬師寺(曾和義雄) 調査中▽西光寺(高倉和英) 山門全壊、本堂傾斜▽真光寺(藤井真隆) 建物内部破損。

【伊丹組】法巖寺(伊藤真澄) 塀崩壊、本堂瓦落下、本堂、庫裡内部壊滅▽光明寺(斎藤祥信) 被害軽微▽正覚寺(増田光順) 本堂屋根落下、空が見える▽大蓮寺(平松聖晃) 山門倒壊、本堂柱折れる▽正善寺(三木有司) 本堂棟波打つ、軒瓦落下、庫裡内部壊滅▽西光寺(玉木天酬) 建物内部壊滅▽西明寺(池口龍雲) 庫裡瓦落下、内部壊滅▽来迎寺(高橋浄祐) 本堂、庫裡瓦落下、山門傾斜▽観音寺(藤井秀善) 内部損傷、瓦落下、塀崩壊▽菩提寺(田中宏瑞) 墓石倒壊、本堂内部損傷▽杜若寺(西本英尊) 墓石全部倒壊、本堂、庫裡内部混乱▽行善寺(内田康教) 調査中▽慶徳寺(増田光順) 調査中▽了福寺(平松聖晃) 調査中▽摂取院(伊政良高) 建物内部被害あり。

【摂陽東組】塩尾寺(河原大元) 本堂、庫裡全壊、自動車内で生活▽阿弥陀寺(鈴木昭孝) 山門全壊、本堂傾斜▽西念寺(本部圓教) 塀崩壊、本堂内部壊滅、庫裡内部被害あり▽観音寺(鈴木榮哉) 調査中▽西福寺(小林幹雄) 調査中▽瀧門寺(加納圓成) 本堂内部崩壊▽西方寺(木村宗司) 本堂亀裂、山門傾斜▽法泉寺(鈴木昭光) 調査中▽正念寺(坂本好彦) 本堂傾く、柱折れる▽大蓮寺(佐々木隆法) 本堂倒壊?、調査中▽法仙寺(生田昌和) 調査中▽善光寺(佐藤徹無) 調査中▽大林寺(木下達雄) 調査中▽法性寺(前原充美) 調査中▽撥音寺(安部哲脩) 調査中▽法輪寺(北村弘彦) 調査中。

【摂陽西組】安養寺(宮城貫道) 調査中▽小童寺(山下隆正) 調査中▽甘露寺(山下恭宏) 本堂内部破損▽阿弥陀寺(岩橋諦晋) 塀石垣波うつ▽利本寺(宮城貫道) 調査中▽西鏡寺(生水康昭) 被害軽微▽東光寺(原田知成) 被害軽微▽天沢寺(大島清人) 被害軽微▽成仏寺(藤田教司) 被害軽微▽光台寺(大島仁志) 被害軽微▽天乳寺(下條一弘) 被害軽微▽安養寺(山下恭宏) 被害軽微。

【有馬組】法性寺(田中慈孝) 調査中▽東尾寺(田中榮泉) 被害軽微▽念仏寺(永岡大純) 本堂傾斜▽光明寺(堀川弘道) 被害軽微、住職負傷▽極楽寺(田中榮泉) 本堂内部混乱、軽微▽西光寺(木全一乗) 本堂観音堂半壊▽西蓮寺(浅野正運) 調査中▽正楽寺(明石裕成) 本堂壁ひび、瓦破損▽正覚寺(佐野随鳳) 墓石一部倒壊▽専念寺(伊藤教道) 墓石一部倒壊、庫裡壁一部破損▽碩安寺(山口諦忍) 墓石一部倒壊。

【三木組】称念寺（加賀孝行）被害軽微▽浄善寺（片山善方）被害軽微▽光明寺（小泉龍宏）山門傾斜、その他軽微▽心光寺（藤井随弘）調査中▽極楽寺（藤井随弘）被害軽微▽栄運寺（片山善方）被害軽微▽林鐘寺（寺本善英）調査中▽光照寺（市野正善）本堂壁落下▽善福寺（善村龍範）本堂傾斜、建物内部混乱▽浄念寺（善村龍範）被害軽微▽西方寺（児玉玄真）被害軽微。

【明石組】光明寺（山口芳典）本堂瓦落下、内部混乱、納骨堂損傷▽無量光寺（小川龍蔵）塀崩壊、本堂、書院内部混乱▽本誓寺（新改博道）本堂瓦落下、内部混乱▽浄蓮寺（白旗信孝）本堂壁落下、内部混乱▽専修寺（吉水圓仁）本堂壁、瓦落下、建具損傷、観音堂内部混乱▽善國寺（吉水圓仁）本堂屋根半壊。

【北摂組】寿命寺（岡村覚生）本堂全壊。

真宗仏光寺派

同派では兵庫組の十三カ寺が被災した。宗務所と地元の八木浄顕宗議（仏性寺住職、兵庫県姫路市）の調べによると、特に被害が大きかったのは六カ寺。中でも如来寺（藤谷信道住職、兵庫県芦屋市）と聖徳寺（三上教道住職、芦屋市）は本堂、庫裡が全壊した。さらに、藤谷住職は付近の住民の救出作業でけがをしたという。

この他、高福寺（藤末専精住職、神戸市長田区）は土塀と茶席が損壊、会館も傾いて非常に危険な状態らしい。光徳寺（清原純住職、神戸市北区）は屋根瓦がすべて落ちた。常福寺（日下雄行住職、兵庫県西宮市）では内陣に被害が出て本堂の柱も歪んだ状態だ。浄願寺（井上得雄住職、西宮市）は山門が倒壊した。

梨本哲雄宗務総長は十九日、宗務所に災害対策本部（本部長＝梨本宗務総長）を設置、被災寺院の状況調査や救済の対応を始めた。まず、本山仏光寺名で被災地へ・八リットルのミネラルウォーターを百五十本届けたほか、二十一日付で全末に義援金を募る趣意書を発送し、二月十五日をメドに協力を呼びかける。

また、二十日には八木宗議を通して本末共済金から被災寺院に見舞金を送った。梨本宗務総長は「『復興は念仏の声 槌の音』をかけ声に被害から立ち上がっていただきたい」と語っている。